

オウム対策住民協議会ニュース

活動資金が足りません 募金にご協力ください

オウム真理教と対決して12年、地域住民、世田谷区民の皆さまの支えで活動してまいりました。烏山地域に居住するオウム真理教信者は、最大時130名を超えることもありました。分裂、教団名の変更を繰り返した「アレフ」が、昨年3月、10年間居住した烏山地域から足立区へ退去しましたが現在は、上祐史浩が代表をしている分派「ひかりの輪」のみが居住しています。教団の危険な本質は、信者が元教祖麻原彰晃の教えや呪縛からの自己解放がされていないことです。このことが解決されない限りは危険な団体といえます。

烏山地域オウム真理教対策住民協議会は、12年間

下記の活動をおこなってまいりました。

近頃は特別手配の信者の出頭や逮捕などで、何かと願がしくなりましたが、全体的にはマスコミ報道の減少、事件の風化に伴う関心の低下で、住民協議会の活動や財政は厳しい現実です。私たちの活動目標は、住民の皆さまが地域で安全に暮らせる、オウム真理教の「解散・解体」です。これから何年かかるかわかりませんが、私たちは活動を継続していきます。これまでも沢山のご支援をいただきましたが、住民の皆さまからの募金が最も有難く勇気付けられます。住民協議会の活動にご賛同いただき、多くの皆さまの募金で住民協議会を元気づけてください。よろしくお願い申し上げます。

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

監視活動

オウム真理教が12年前烏山地域に集団居住して以来、各団体で分担し連日継続しています。



監視小屋

募金活動・リサイクルバザー

毎年、25ヶ所以上のお祭り・イベント会場で、募金をお願いしています。リサイクルバザーも今年で6回目、皆さまに物品提供をお願いして毎回好評です。



署名活動

法律でオウム真理教の活動を規制する「団体規制法」の存続・「観察処分」の更新署名は合計6回行い、毎回約5万筆の署名が集まっています。



抗議デモ・学習会

今年24回目になった、オウム真理教施設への抗議デモ・学習会には、毎回250名以上の皆さまに参加していただいています。



住民協議会ニュース

年10回発行し今号で117号を数えます。オウム真理教の過去の危険な活動や本質、住民協議会活動の紹介、現在のアレフ・ひかりの輪の現状などの報告を行っています。



●募金受付方法

- 1、お祭り・イベント会場での募金活動にご協力ください。
- 2、住民協議会に直接お届けいただくか、ご連絡をお願いいたします。
- 3、お近くの住民協議会会員にお渡しください。

●連絡先

烏山総合支所内住民協議会
〒157-0062 世田谷区南烏山 6-22-14
TEL 03-3326-1202・FAX 03-3326-1050

事件の被害者・遺族・関係者の心情を思えば、3人の信者容疑者は、オウム真理教への入信から事件へと向かった過程・心境を包み隠さず証言し、刑に服することが求められる。いとも簡単に、凶悪な事件へと突き進んでしまった教団の教義・組織のあり方、麻原との関係や自己の心境などを証言することは、事件の解明にも繋がる可能性と同時に、信者本人の社会に對しての責務でもある。報道への注文だが、顔の変化、防犯カメラ、逃走経路、極め付けは男と女の関係など、相変わらず興味本位の報道が多い。さらに、テレビ各社のインタビューに、被害者家族と同列の扱いで、「ひかりの輪」代表上祐史浩を登場させた。その内容たるや、上祐にはあからさまに麻原を批判させ、ひかりの輪は正常な団体と思わせるような言動を垂れ流した。未だひかりの輪は、団体規制法による観察処分に処せられている団体である。テレビ各社には正常な見識で報道することを強く要望する。

「擬態」を見るようだ。

昨年末の平田信容疑者の出頭、今年6月3日の菊地直子容疑者に続き、6月15日には高橋克也容疑者も逮捕された。17年間の逃亡が、僅か6ヶ月ですべての容疑者が逮捕という、予想もしない結果となり、オウム真理教事件もひとつの転機を迎えた。

すでに死刑や無期懲役が決定している信者も、平田・菊地・高橋各容疑者が関わった事件で証人としての出廷も考えられ、その場合には死刑執行は先送りされる。それにしても、今回明らかになった逃亡劇は、理解しがたいことが幾つかある。16年間にわたる、オウム真理教事件裁判の終結に時期を合わせたいような、出頭や逮捕劇という結末。「普通の生活が心地よかった」との信者容疑者の言葉は、余りにも幼稚で、被害者の心情を汲み取らない、身勝手なものだ。社会から隠れるでもなく、通常の社会生活をしながらの逃亡でありながら、捕まらなかつた謎など疑問が湧くと同時に、私たちが住んでいる社会の歪みも見えてくる。多額な現金を所持し、ごく普通の職場で勤務するなど、逃亡犯の暗いイメージとは余りにもかけ離れていたのは、人との関係が希薄な都会が、彼らにとって都合の良い隠れ場所だったのかもしれない。オウムという動物が敵から身を隠す「擬態」を見るようだ。

昨年末の平田信容疑者の出頭、今年6月3日の菊地直子容疑者に続き、6月15日には高橋克也容疑者も逮捕された。17年間の逃亡が、僅か6ヶ月ですべての容疑者が逮捕という、予想もしない結果となり、オウム真理教事件もひとつの転機を迎えた。

最後の特別手配犯 高橋克也容疑者も逮捕

NHK スペシャル「未解決事件（オウム真理教）」（1）

1. 放映の経緯

地下鉄サリン事件から17年、NHKが、5月26日・27日の2日間、未解決事件シリーズの第二弾としてオウム真理教の3時間を超すスペシャル番組を放送した。このシリーズは、日本中に大きな衝撃を与え、今も生々しい記憶を残す「未解決事件」を実録ドラマとドキュメンタリーで検証するもので、2011年7月30日に「グリコ・森永事件」が第一弾として取り上げられた。その放送後、NHKに「オウム真理教の事件を取り上げてほしい」との要望があり、今回の第二弾となったが、その要望は、地下鉄サリン事件の遺族からだった…。

2. 実録ドラマのあらまし

実録ドラマは、脱会した古参元女性幹部と元信者の夫への取材、及び、NHKが独自に入手した700本もの録音テープを基に、オウムの変遷過程を描く。テーマは、「なぜオウム真理教は暴走したのか…」。古参元女性幹部は、教団の前身であるヨガ・サークル「オウム神仙の会」に参加し、魂の救済を掲げる麻原彰晃の言葉に惹かれ、すべてを投げ打って出家した。そこでの修行は厳しいながら充実感も得ていた。ところがある「事件」をきっかけに、その隠蔽が教団内に「闇」を生み、大量殺人事件へと繋がっていく。

しかし、この元女性幹部の証言はあるところで途絶える。それは、彼女に電気ショックをかけて記憶を消す「ニューナルコ」と呼ぶイニシエーションを10回も行ったためだ。薬物や電気ショック、監禁拷問などの人権蹂躪や、修行中気がふれた信者を殺し、切り刻んで護摩壇で焼き上げる等事件は続く。これら正視に堪えられないことが淡々と行われる、この無機質さが怖ろしさを増した。

3. ドキュメント「警察とオウムの攻防」のあらまし

90年の熊本県波野村への集団移転に伴う国土法違反騒動

の頃から、我々はオウムを報道で知る。その後、波野村を追われたオウムは旧上九一色村に移り、そこでサリン製造を成功させた。このサリンで世界に類を見ない化学テロ、松本サリン事件、地下鉄サリン事件を起こした。

松本サリン事件を捜査する長野県警は、サリン製造は一般人には無理だとして、サリンの原料、薬品ジメチルに的を絞って流通経路を調べた。購入会社232社のうち大量に現金で購入した個人を特定し、世田谷線松原駅のオウム道場に辿り着いた。一方、坂本弁護士一家殺害事件を捜査する神奈川県警も、教団の17箇所国内拠点を24時間体制で張り込み、薬品搬入業者とその銀行口座を調べ、オウムとサリンの関係を立証した。両県警は警察庁に報告し、94年9月、オウム専従班が立ち上がった。

この動きを知ったオウムは、94年11月、首都で宗教戦争を起こそうと皇居の周囲にアジトを借りて武装した。翌年元旦、読売新聞がオウムをスクープ。95年2月の飯谷さん拉致事件で警視庁の捜査となり、オウム本丸への強制捜査のXデーが3月22日に決まった。焦る麻原は3月20日、地下鉄にサリンを撒き、事件を引き起こした。

4. 最後に

「気の弱い人間が宗教には集まってくる。そんな連中を魚釣りのように釣り上げる」このアドバイスを麻原は実行した。人の心の片隅にある弱さに付け込んで作った教団。これも麻原にとっては、権力欲を実現するための手段であって、ハルマゲドンもポアもサリンもそのプロセス上のアイテムに過ぎなかった。そして、麻原に従って殺人を起こした信者。この一連のオウムの行動の中で、突然に命を奪われた被害者とその家族の気持ちを思うと、事件の真相究明を続けていかななくてはならない。

烏山下町まつりで募金活動

6月2日（土）第3回烏山下町まつりで、今年も募金活動をさせていただきました。会場の世田谷文学館前道路では、ジャズ演奏・けん玉・ヨーヨー釣り・わら細工など様々な催しが所狭しとならび披露されていました。沢山の子供たち・親子連れで溢れるなか、大きな人だかりを覗くと、豆を箸で掴み、容器に入れるゲームに、大人も子どもも汗をふきふき一生懸命でした。その中の一人の子どもが近寄り、先日テレビで放映された、NHKの「未解決事件 オウム真理教」を家

族で見たと言って、ポケットから大事そうに30円を募金してくれました。多くの皆さんにご協力いただき、とても楽しい募金活動になりました。主催者の烏山下町の皆さまには、色々心遣い頂き大変感謝しております。ありがとうございました。



住民協議会活動報告

6月 6日（水） オウム真理教対策関係市町村連絡会総会参加
6月18日（月） 実行委員会

6月25日（月） 協議会ニュース117号初校正
7月 2日（月） 協議会ニュース117号再校正
7月 5日（木） 事務局会議
7月10日（火） 協議会ニュース117号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。